

報道関係者各位

2007年12月18日
株式会社インターリンク

インターリンク、大学や教育機関のセカンドライフ活動を支援開始
～ 第一弾として神戸大学。市民と科学者の対話の場をセカンドライフ上で実施～

ブロードバンド接続サービス提供などを展開する、株式会社インターリンク(本社:東京都豊島区、代表取締役:横山 正、以下 インターリンク)は、これまでのユニセフや赤い羽根募金など数々のセカンドライフ活動をインターリンクが管理・運営する「八国山(はちこくやま)アイランド」<<http://www.hachikokuyama.net/>>内で支援してきましたが、このたび大学や教育機関のセカンドライフ活動の支援を開始します。

第一弾として神戸大学大学院人間発達環境学研究科ヒューマン・コミュニティ創成研究センター(兵庫県神戸市、以下 神戸大)の研究プロジェクトに、八国山アイランド内の土地を無償で貸与し、セカンドライフでの実験・研究を支援します。また、最初の取組みを、市民と科学者の双方向コミュニケーションの場として開催してきた「サイエンスカフェ神戸」の3D仮想現実世界で初めて開催する試みを12月19日(水)18時より実施します。



セカンドライフ内「サイエンスカフェ神戸」

[<http://www.hachikokuyama.net/scafe.html>]

2005年から「市民の科学に対する大学の支援に関する実践的研究」(略称「市民の科学」)という、市民参加型のプロジェクトを神戸大では実施しており、「サイエンスカフェ神戸」はその中の取組みとして、文化としての科学を地域社会に根づかせることを目的に、市民も運営に参加しつつ、様々な場で頻繁に開催する方法で、これまで36回開催されています。神戸大ではセカンドライフでの最初の実験・研究として、今回このサイエンスカフェを3D仮想現実世界で実験的に開催します。インターネット上の開催により、遠隔地からの参加や、科学への関心が低下しているとされる若者など参加者層の広がりが期待されることから、その可能性を探ることを目的とするものです。



サイエンスカフェ神戸の様子

インターリンクは2007年6月にセカンドライフ内で「八国山アイランド」を展開し、これまでに様々なボランティア団体やNGO団体の活動を無償で支援し、環境保護や人道支援活動をサポートして参りました。神戸大学をはじめとして、今後はセカンドライフ内で3D仮想現実世界における実験・研究を希望する大学や教育機関に無償で土地をお貸しし、連携して3D仮想現実世界の可能性を積極的に実験・研究して参ります。

以上

< 本件に関するプレスの方からのお問合せ先 >

株式会社トレイントラックス(株式会社インターリンク 広報代理店)
担当: 中村・関口 TEL: 03-5738-4177 E-mail: pr@traintracks.jp

参考資料

株式会社インターリンク (URL: <http://www.interlink.or.jp/>)

日本のインターネット黎明期である1995年よりサービスを開始した、今年で12年目を迎える老舗ISP。2006年10月にはオリジナルドメインを無料提供できる、国内唯一のICANN公認レジストラに認定。ユーザーにとってより快適なインターネット接続環境を提供すると共に、インターネットを通じた社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

代表者名 : 代表取締役 横山 正

設立 : 1992年4月7日

事業内容 :

インターネットプロバイダー業務 / ハウジングセンター業務 / レンタルサーバー業務 / ICANN認定レジストラ / JPドメインリセラー / 米国ドメインリセラー

資本金 : 226,100,000円

【八国山アイランドについて】 (URL: <http://www.hachikokuyama.net/>)

インターリンクがセカンドライフ内で展開する、環境保護団体や人道支援団体などNPOへの支援をする目的で作った島です。NPO団体が、アバターや服などをチャリティー目的で販売しています。八国山とは、映画『となりのトトロ』でサツキとメイの母親が入院している病院のある「七国山」のモデルとなった場所です。緑豊かな八国山周辺は、「トトロのふるさと」と呼ばれています。

【これまでのセカンドライフ内における社会貢献活動】

- 捨て犬や捨て猫の保護を支援しているアニマルフレイジュ関西(A R K)特設店舗の構築支援 (2007年12月11日～)
- 砂漠緑化プロジェクトを支援しているFoE JAPAN特設店舗の構築支援 (2007年12月4日～)
- 関西NGO協議会20周年記念・加盟団体合同写真展開催 (2007年11月26日～12月3日)
- 「赤い羽根募金」をセカンドライフ内でも実施 (2007年10月1日～)
- 財団法人日本ユニセフ協会の『バーチャルユニセフハウス』の構築支援 (2007年8月23日～)
- ウミガメ類を取り巻く自然環境の保全のため、「日本ウミガメ協議会」特設店舗の構築支援 (2007年6月29日～)
- トトロのふるさとである「淵の森緑地」自然保護のための、『淵(ふち)の森グリーン trusts』特設店舗の構築支援 (2007年6月1日～)

神戸大学大学院人間発達環境学研究所 (URL: <http://www.h.kobe-u.ac.jp/>)

神戸大学大学院人間発達環境学研究所は、「人間」「発達」「環境」をキーワードに2007年4月に設置された新しい研究科。それまで国際文化部と発達科学部の二つの学部を基礎にした研究科として、総合人間科学研究科が設置されていました。この研究科の発達科学部系では1)人間発達・人間形成、2)人間の発達を支える環境のあり方、に関する二つの教育研究活動を柱としてきました。この二分野の教育研究活動をさらに拡大深化させるために、2005年に大学院附属施設として「発達支援インスティテュート」を設立し、その一組織である「ヒューマン・コミュニティ創成研究センター」とそのサテライト施設として「のびやかスペース・あーち」を開設。「ヒューマン・コミュニティ創成研究」を「人間的な社会の創造を目指して、大学が地域、行政、企業、市民と連携しつつ、人間の発達と発達を支える環境について原理的、実践的に研究する活動の総体」と定義し、成熟した市民社会の形成過程に高度な専門的知識をもって主体的にコミットできる人材の養成を目指して教育研究活動を行っています。